

(お 知 ら せ)



平成 19 年 5 月 2 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（5月2日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	平成19年2月16日より 第31回定期検査中
2 号 機 加圧水型（116万kW）	運 転 中

2. 保全品質情報等について（平成19年4月6日～平成19年5月2日）

（1）法律に基づく報告事象や安全協定の異常時報告事象に該当する重要な事象
な し

（2）安全協定の異常時報告事象に該当する軽微な事象

＜その都度、当社ホームページに掲載しています。＞

①敦賀発電所1号機 格納容器冷却系海水配管からの海水漏えいについて

第31回定期検査中の平成19年4月5日22時41分頃、漏電を示す警報が発生しました。

漏電箇所は、炉心スプレイポンプ※¹のモータ内部を除湿するヒータ部で発生しており、現場確認の結果、原子炉建屋地下1階に設置されている、点検開放中の格納容器冷却系※²熱交換器A出口弁から海水が漏れ出し、階下の炉心スプレイポンプ2台（A、C号機）のモータ上部に滴下していることを確認しました。

運転中のB系海水ポンプを停止するとともに、A系の水抜きを行うことにより、当該弁からの海水漏えいは停止しました。

漏れ出た海水量は約100リットルで、すべて回収しました。

被水した2台のモータを簡易点検した結果、絶縁抵抗※³の低下や軸受部への海水浸入が認められました。

現在、当該弁から海水が漏えいした原因の調査と、被水したモータの点検等を行っています。
なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

- ※ 1：非常用炉心冷却設備の一つで、冷却材喪失事故時に炉心に冷却水を供給する系統のポンプ。100%の容量のポンプが4台あり、今回被水したのは、このうちの2台、残り2台は別な部屋に設置されている。
- ※ 2：非常用炉心冷却設備の一つで、冷却材喪失事故時に格納容器内の温度、圧力を低減するため冷却水をスプレーする系統
- ※ 3：電気が外部に漏れ出ることを防ぐ能力

(3) 前記(1)及び(2)に該当しない軽微な事象

＜その都度、当社ホームページに掲載しています。＞

①敦賀発電所1号機 制御棒駆動機構の空気抜き作業での水の飛散について

第31回定期検査中の平成19年4月10日、原子炉建屋1階において制御棒駆動機構^{※1}の空気抜き作業^{※2}を行っていた運転員が、空気抜きホースの接続先が異なっていることに気付き、ホースを付け替えようと接続部を緩めた際、水が飛散し、運転員の体の一部にかかりました。

飛散した水(約2リットル)の放射エネルギーは検出限界値未満で、全てドレン受けにより回収されております。

また、運転員に身体汚染はありませんでした。

水が飛散した原因は、空気抜きホースの元弁を閉めずに接続部を緩めたため、ホースを取り外す際は、元弁を閉めてから行うことを周知徹底します。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

※ 1：原子炉の反応度を制御する制御棒を炉心に出し入れする装置で、水圧により駆動する

※ 2：制御棒駆動機構(73体)内に空気が混入していると、制御棒の動きが不安定になるため、順次駆動機構の空気抜き弁にホースを取付け、空気抜きを行う作業

②敦賀発電所1号機 非常用復水器水抜き作業での溢水について

第31回定期検査中の平成19年4月11日、原子炉建屋2階において、定期検査作業に伴う非常用復水器系^{※1}の水抜き作業として、仮設ホース(以下、ホースという)を使用して床面の排水口から液体廃棄物処理系へ水を回収する作業を行っていました。

B系の水抜き弁を調整開操作したところ、ホースが差込まれていた床面の排水口から、水が溢れていることを確認したため、直ちに水抜き弁を閉止し水抜き作業を中断しました。

溢れた水の量は、原子炉建屋2階および1階床面の水溜まり状況から、合計で約12リットル、放射エネルギーは総量で約 $1 \times 10^5 \text{Bq}$ ^{※2}と評価されましたが、すべて回収されており、本事象による周辺環境への影響はありません。

排水が溢れ出た原因は、ホースの先端がひも等で固定されていなかったため、水抜き開始時の水流により排水口内で振れ回ったことによるものと推定されました。

対策として、ホースを使用して作業を行う場合は、ホースをひも等で固定することを関係者に再徹底すると共に、他で使用されている全てのホースについて固定されていることを確認しました。また、水抜き弁と排水口が離れている場合においては、水量を確実に調整できるよう、排水口の位置に水量を監視する者を配置することを徹底しました。

※ 1：原子炉で発生した蒸気は主復水器で冷却されるが、事故等により主復水器で冷却できない時に、それに代わって原子炉を冷却する系統で、蒸気を非常用復水器内で冷却し、水として原子炉に戻すもの。

※ 2：法律に基づく報告基準は $3.7 \times 10^6 \text{Bq}$ である。

3. 発電設備の点検結果に関する経済産業大臣からの保安規定の変更命令等について

当社は、平成18年11月30日の原子力安全・保安院からの指示（発電設備に係る点検について）に基づき、社長のトップマネジメントの指示の下、常務取締役を委員長とする「発電設備に係る調査・対策委員会」を設置し、全社を挙げて、発電設備に係る点検を行い、点検結果を取りまとめた報告書を平成19年3月30日に、また、点検結果として報告した不正操作、隠ぺい及び改ざんなどの不適切な事案に関する再発防止対策を取りまとめた報告書を平成19年4月6日に、経済産業省原子力安全・保安院長宛に提出するとともに、茨城県、東海村、福井県、敦賀市及び美浜町に提出いたしました。

《平成19年3月30日、4月6日 記者発表済》

また、4月20日、経済産業大臣より、当社の報告内容を踏まえ、保安規定の変更命令、嚴重注意及び指示を受けました。

当社は、これらを真摯に受け止め、同様の事象を再発させないために、トップマネジメントの新たな決意のもと、再発防止対策を徹底し、全社員が一丸となり、安全第一を最優先にして社会的な信頼の回復に努めてまいります。

立地地域をはじめ社会の皆様には、大変ご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

《平成19年4月20日 記者発表済》

4. 敦賀発電所1号機 第31回定期検査の状況について

敦賀発電所1号機は、平成19年2月16日から第31回定期検査を実施しています。

《平成19年2月14日 記者発表済》

今般、原子力安全・保安院による特別な検査に対応するため、定期検査期間を延長することとしました。

なお、今後の詳細な工程については現在検討中です。

《平成19年5月2日 記者発表済》

（別紙工程表参照）

5. 敦賀発電所3，4号機準備工事について（5月2日現在）

（1）防波堤・護岸等の構築

①敦賀発電所岸壁にてケーソンを製作しています。

②敦賀市内用地及び敦賀港内岸壁にて、コンクリートブロックを製作しています。

③海上工事については、捨石投入による護岸基礎の構築及び、ケーソンの据付を行っています。

(2) 敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施しています。

6. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

① 青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージポスターの部入賞作品展

〔青少年健全育成敦賀市民会議主催のポスター作品展です。敦賀市内の小・中・高校生と一般からの応募作品の中で選ばれた優秀作品を展示予定。〕 (4/24～5/6)

② 花遊“花たちとの出会い” おし花展

〔花遊（代表：石井蓮好様）15名の皆様による押し花作品展です。花遊の皆様は、仲間達と幸せな花時間を持つことをテーマに活動されています。今回は、花の持つ形・色を自由に表現された作品（額や小物）を約100点展示予定。〕 (5/8～5/20)

③ なごみ押し花の会 花と遊ぼう＆バラの粧い

〔なごみ押し花の会（代表：中山美恵子様）15名の皆様による押し花アート作品展です。今回は、絵の具に見立てた押し花を使い、華やかなバラの花を如何により立体的に美しく表わせるかに取り組まれました。約50点展示予定。〕 (5/22～6/3)

(2) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

① げんでんふれあいコンサート2007 (7/10)

美輪明宏音楽会 ＜愛＞L'AMOUR 於：フェニックスプラザ（福井市）
出演者：美輪明宏他
チケットは、サークルKサンクス(福井県内全店)、フェニックスプラザプレイガイドで販売中。

(3) 次世代層への教育支援活動関連イベント

＜次世代層への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

① “げん丸塾” 科学実験講座

〔目にもの見せる光の科学実験〕

対象：げん丸塾生（会員制） 於：敦賀原子力館（5/26）

以 上